

開発趣旨

- ・景色を楽しめるよう展望性、眺望性の向上
- ・基準性能を維持しつつより軽量化
- ・景観に溶け込む形状、色彩をデザイン

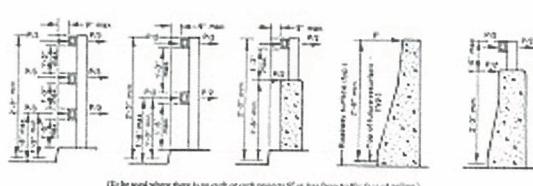
〈日本の防護柵の設置基準の推移〉

- 1965年 「防護柵設置要綱」発刊  
1972年 「防護柵設置要綱」改定  
1986年 「防護柵設置要綱・資料集」発刊  
1993年 「車両制限令」改定  
一般道路走行できる車両  
 $20\text{トン} \Rightarrow 25\text{トン}$   
1998年 「防護柵の設置基準・同解説」発刊  
「防護柵設置要綱」と  
「防護柵設置要綱・資料集」を統合  
2004年 「防護柵の設置基準・同解説」改定  
2008年 「防護柵の設置基準・同解説」改定

〈USAの基準〉

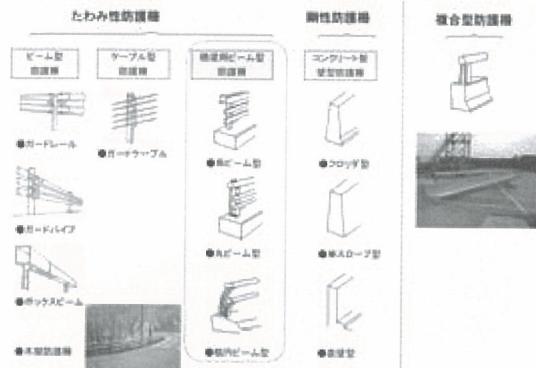


STANDARD SPECIFICATIONS  
for  
HIGHWAY BRIDGES  
SIXTEENTH EDITION  
1996



(Be wary where there is no curb or concrete shoulder (edge of paving).)

〈車両用防護柵の形状〉



〈土木製品開発委員会の活動〉

- 社団法人 日本アルミニウム協会  
・1961年: アルミ合金製高欄が実用化  
(第1号は天狗橋高欄)



天狗橋

- ・1967年: 土木製品開発委員会設立  
アルミ合金製ガードレールの実車衝突実験  
・1972年: 「防護柵設置要綱」改訂  
アルミ合金製ガードレールの構造諸元掲載  
・1979年: 車両用防護柵の実車衝突実験  
橋梁用車両防護柵の開発に着手

〈実車衝突実験〉

